

十月六日
雨後雲

一 特記事項

(一) 中隊長以下四名宇久田地区陣地偵察終了歸隊ス

命令

二 陸軍一等兵

田村清

陸軍一等兵

塚正雄

陸軍上等兵ヲ命令ス(十日一日付)

命令

三 陸軍一等兵

北川晴男

兵精勤章ヲ附與ス(十日一日付)

十月七日
晴

一 特記事項

(一) 榮野比地区陣地掩蓋銃座本日ヲ以テ完成ス

位置ハ附圖第一ノ如シ

(二) 陸軍兵長齋藤明確以下三名初級下士官ニ必要ナル要素ヲ試驗シテ聯隊本部ニ出張ス

十月八日
晴

一 特記事項

(一) 楚南中隊指揮班幕舎於テハハトリノ幹部會報實施ス

第二次築城作業付テ研究会トシテ三日間

之中隊長築城作業ニ関スル學科トシテ三日間

3. 言ヲ解散

作命

二 附表第四ノ如シ

ハ燈火警警戒管制ヲ實施ス

十月九日
晴

一 特記事項

(一) 中隊長具志川國民學校聯隊本部於テ要員施ス

ル之中隊長會報ニ出席

(二) 陸軍一等兵 植松茂

陸軍一等兵 久保田啓造

第三交通哨勤務終了中隊ニ歸隊ス

現員ニ將校以下一五三名

十月十日
雲時晴

一特記事項

(一)六五彼我不明 具志川—楚南上空—嘉手納
 方向五機編隊(特徵白銀色及暗灰色)中翼單發(高
 度二〇〇〇米)該編隊北飛行場上空ニ於テ急降下スルヲ望見
 レ敵機ト判断同時ニ銃聲爆發音五回ト共ニ飛行場上
 空ニ黑煙天ニ柱スルヲ見レ

(二)六五敵機五機編隊 高離島—全武灣—石川上
 空ヨリ榮野比上空ニ旋廻シ榮野比上空ヨリ大陽ヲ北背ニ負ヒ
 テ楚南上空—北中飛行場ニ向ヒ空龍衣セリ

我が所在部隊ハ全火力ヲ發揚シテ之ヲ敵手退ス

三〇八三〇敵機二機編隊 全武灣上空ヨリ楚南上空
 高度一五〇〇北中飛行場ニ向ヒ來龍衣セリ

昭和十四年十一月十日

(四)六〇〇敵機三機編隊 東恩納上空ヲ旋廻シ東恩納ニ

急降下爆發三發投下同時ニ銃撃ヲ行フ

(五)二二〇敵機二機編隊 伊計島—恩納岳—北飛行場

ニ向ヒ來龍衣ス 高度一〇〇〇

(六)三三〇敵機二機編隊 北中飛行場ヲ連續銃爆發撃

(七)六二〇東地區上空ニ敵機一機

(八)六六〇—一六二〇間敵機四機編隊ハ常ニ東地區上空ヲ

飛行シテアリ

(九)未龍衣敵機編隊 郡ノ主攻撃目標ハ軍事施設就中飛行
 場軍需品船舶等重要施設ト判断被断セル部 落公共建
 設物對シ銃爆發ヲ指向ス

(十)四〇〇空襲警報解除セラレ

ニ附表第五ノ如シ

(十一)第七中隊ハ楚南附近ノ陣地ヲ占領スベシ

作命

深作命

- (一) 對空監視哨ヲ一組配置ス
- (二) 中隊ハ幕舎ヲ徹収シ偽裝遮蔽ヲ徹底ス
- (三) 附表第六ノ如シ

(一) 陸軍伍長 末永治男 以下二〇名 師團軍需品分散作業ニ從事ス

十月二十日

一 特記事項第七ノ如シ

深作命

(一) 陸軍伍長 松家彰 以下二〇名 師團軍需品分散作業ス

(二) 陸軍伍長 松家彰 以下二〇名 師團軍需品分散作業終了歸隊ス

十月二十日

一 特記事項

(一) 五三〇乙 席戰備準備ス

幕舎ヲ徹収偽裝遮蔽ヲ徹底ス

乙 對空監視哨ヲ一組配置ス

命令受領者 陸軍曹長 杉山貴三 大隊本部ニ集合ス

二 四〇〇 空龍衣散言報解除

三 陸軍兵長 飯島信市 那霸揚塔作業一時中止歸隊ス

現員 四將校以下一五四名

十月二十日

一 特記事項

(一) 陸軍伍長 船本松良 以下三名 初年兵教育助教助手ニ集合教育ヲ夕メ聯隊本部ニ集合ス

深作命

二 附表第八ノ如シ

陸軍兵長 芹澤直志

陸軍上等兵 山本廣雄

陸軍上等兵 佐藤 彬雄

陸軍兵長 黒田 弘

陸軍上等兵

十月十五日
晴

一 特記事項

(一) 陸軍軍曹佐々木竹千代以下四名宿營設備、夕、嘉良川ニ先発ス

(二) 五、三、三 築城作業中止 作命ニ基キ移動準備

(三) 五、三、三 幕舎徹収 天幕梱包 其他築城器具糧秣

ノ梱包ヲ要ス

之六、三、三 各種梱包完了 出發準備終リ

三、八、三 第二大隊長ノ指揮下ヲ離レ 楚南幕営地ニ去發

スニ、三、三 嘉良川到リ着

二 陸軍准尉菊地俊夫以下四名 第二次築城作業ノ夕、

楚南作業隊長陸軍中尉渡邊久章ノ指揮ニ入ル

三 陸軍伍長船本松良以下三名 初年兵教育ノ夕、教育隊

ニ派遣ス

四 陸軍一等兵樋口吉良以下二名 入室ノ夕、醫務室ニ残置ス

五 歩兵第二聯隊 小城大尉ノ指揮ニ入ル

六 附表第九ノ如シ

七 附表第十ノ如シ

八 附表第十一ノ如シ

九 陸軍一等兵久保田浩造 教育隊炊事勤務ノ夕、教育隊

作命
深作命
作命
命令

陸軍上等兵 酒井豊夫

陸軍上等兵 藤野俊雄

陸軍上等兵 高廣忠

陸軍一等兵 島上秋雄

陸軍下等兵 佐藤秀雄

陸軍上等兵 渥美全造

陸軍衛生上等兵 坂倉哲次

兵精勤章ヲ附與ス (十月十日付)